

齋藤豪准教授（工学部・大学院自然科学研究科）が平成 27 年度日本材料学会論文奨励賞を受賞されました

大学院自然科学研究科（工学部）の齋藤豪准教授が、公益社団法人日本材料学会において、日本材料学会会誌「材料（第 64 巻，第 6 号，P463-470）」に発表した論文が優れていると認められ、平成 27 年度日本材料学会論文奨励賞を受賞しました。授賞式は平成 28 年 5 月 28 日に行われる予定です。

この研究は、セメント水和物の一つであるエトリンガイトの核生成・成長場所の違いや生成場所近傍にある C-S-H の性質の違いを考慮するために、セメントペースト中の「エトリンガイト生成起源」に着目することで、水中浸漬によるモルタルの膨張性状を評価することを目的としたものです。その結果、モルタルの膨張性状を的確に評価するためには、浸漬前後の単純なエトリンガイト生成量の変化のみならず、エトリンガイトの核生成・成長場所の違いや、エトリンガイト近傍に存在する C-S-H 相をはじめとした共存物質の種類を考慮した評価が必要であることを報告しています。